



上) 国際アーカイブズの日
記念講演会 (2009.6.9)
中左) 宇賀克也先生の講演
(同上)
中右) 後藤仁先生の講演
(同上)
下) 全国公文書館長会議
(2009.6.10)

過去を理解し、未来へ伝える。



「国際公文書館会議」のポスター

6月9日は 「国際アーカイブズの日」

国際公文書館会議 (International Council on Archives・ICA) は、文書や記録の保存や利用について、世界中の公文書館の相互の連携を強め、活動の発展を目指して、ユネスコ (UNESCO) の支援のもと、1948年6月9日に発足しました。この発足の日を記念して、ICAは、毎年6月9日を「国際アーカイブズの日」と定め、広く活動の周知を図ることとしました。文書や記録を残すこと、それは国や地方公共団体だけでなく、企業や団体にとっても非常に大切なことです。この日をきっかけに、それぞれが作成、取得したいろいろな文書や記録を、保存し、その利用を図ることの大切さをもう一度考えましょう。

「アーカイブズ」

●個人または組織がその活動を通じて作成、接受、蓄積した文書、映像、音声などによる記録や電子記録などのうち、組織運営や学術研究の必要性、文化その他の多様な価値ゆえに永続的に保存される資料 ●これらの文書記録等を保存し、整理し、利用に供する施設 ●文書記録等を保存、整理、利用に供する行為

国立公文書館

国立公文書館 検索

